

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-274	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家総702	未来へつなぐ 家庭総合365		

1. 編修の基本方針

「人生に役立つ教科書」をコンセプトに、人や社会とかかわり、つながるなかで、身のまわりの生活を再認識し、人生を見直し、自分なりの価値観を築き、未来を創造することができるようになることを目標に、編修しました。高校生が、日々の生活のなかから自ら課題を見つけ、その解決のために必要な知識と技術を身につけることができるように留意し、身近なものとして実感しやすく、実生活に役立つ資料やコラムなどを選定しました。

また、異なる世代や文化に対する理解を深め、お互いを思いやり、助け合い、共に生きることの大切さに気づけるように配慮しました。自然や環境の未来を考え、持続可能な社会をつくる必要性を学び、積極的にかかわっていけるように、SDGs 特集を口絵に設け、各領域の扉でも家庭科と SDGs のかかわりを取り扱いました。

【全体構成】

本書は、家族・家庭及び福祉に関する A 編、衣食住にまつわる B 編、消費生活・環境にかかわる C 編、ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動の D 編からなる、計 4 編で構成しました。また、A 編のはじめと C 編の後に生活設計の章を置くことで、学習前と学習後の、自身の考え方の変化に気づき、全編を通してこれからの人生について考え、生活設計ができる流れにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
私たちの生活 私たちの一生 家庭科で何学ぶ？ 世界を変える 17 の目標「SDGs」って何？ 生活を豊かにする「家庭科」 ニュースから課題を見つけてみよう	・家庭科を通じて、社会で起こっているさまざまな問題について考えることができるように工夫しています。特に、SDGs を教科書全体で扱い、口絵で大きく展開することで持続可能な社会への意識を高めることができる構成になっています（第 4 号）。	口絵 1 - 11
A 編 第 1 章 生涯の生活設計 1 ①あなたの将来、どうする？	・ライフイベントについて考えさせる資料で多様な生き方があることを認識したり、目標の設定や計画の重要性を理解したりできるようにしています（第 1 号）。 ・高校生が自分のライフイベントを考え、家庭科学習の最後に振り返る主体的な学びができるようにしました（第 2 号）。	8 - 9 頁 8 頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>A 編 第2章 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>①自立への一步を踏み出そう</p> <p>②家族・家庭って何？</p> <p>③将来の自分と家庭を想像する</p>	<p>・成年年齢の引き下げにともない、C 編 第2章と連携しながら、「自立したおとなになるとはどういうことか」を考えられるようにしました。また、家族の形や役割、法律上の規定、困り事を相談できる機関などについて考えさせる内容を多く掲載し、高校生が将来充実した家庭生活を送るための基本的な知識を得るとともに、家族やパートナーとともに生きることの意義が理解できるようにしています（第1号）。</p> <p>・日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて、基礎をしっかりと扱い、青年期に考えるべき職業観を養うための工夫をしています（第2号、第3号）。</p>	<p>13 - 21, 27 頁</p> <p>15, 24 - 26 頁</p>
<p>A 編 第3章 子どもの生活と保育</p> <p>①子どもはどう生まれ育つ？</p> <p>②子どもとどうかかわろう？</p> <p>③これからの子育てとは？</p>	<p>・新しく生まれる生命を身近に感じ、新生児の小ささを実感することができるように、等身大の赤ちゃんの写真や、ひとりの子どもの成長を追った月齢・年齢別の写真などを掲載しました（第4号）。</p> <p>・年中行事や伝統文化について扱い、子どもの健やかな発達における児童文化財の重要性を理解できるようにしました（第5号）。</p> <p>・抱っこや授乳、おむつ替えなど、将来高校生が子育てをする際に実践できる乳児の世話の仕方のほか、幼児とのかかわり方などを写真付きで詳しく解説しています（第1号）。</p> <p>・これから子育てにかかわる世代になっていく高校生が、少子化や育児不安、仕事と子育てなど、保育に関するさまざまな問題について自分のこととして考えられるように、表現に留意しています（第3号）。</p> <p>・日本や世界の子どもたちの現状について考えることができる資料を掲載しました（第5号）。</p>	<p>折込 1 - 4 頁、 33 頁</p> <p>36 - 37 頁</p> <p>42 - 47 頁</p> <p>48 - 53, 56 - 57 頁</p> <p>49, 54 - 55 頁</p>
<p>A 編 第4章 高齢期の生活と福祉</p> <p>①高齢期ってどういう時期？</p> <p>②高齢者とふれ合ってみよう</p> <p>③高齢化する日本を生きる</p>	<p>・今の生活が、年をとってからの健康の基礎になることを意識できるように、正しい知識を身につけ、健康のためにできることを考えられるように工夫しました（第1号）。</p> <p>・現在の日本が直面している、超高齢社会についての正しい知識を身につけ、これからの福祉を維持していくために、主体的に社会の形成に参画することが大切であると意識できるように構成しています（第3号）。</p>	<p>60 - 65 頁</p> <p>66 - 71 頁</p>
<p>A 編 第5章 共生社会と福祉</p> <p>①共生って何だろう？</p> <p>②ノーマライゼーションとは</p>	<p>・社会にはさまざまな立場や考え方の人がいることに気づき、私たちの生活が支え合いによって成り立っていることが理解できるように工夫しています（第3号）。</p> <p>・社会保障の制度を支えているのは勤労世代であることを意識し、職業の大切さに気づくことができるように構成しています（第2号）。</p>	<p>77, 84 - 85 頁 など</p> <p>78 - 81 頁</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
B編 第1章 食生活と健康 ①なぜごはんを食べるの？ ②私たちは何を食べているの？ ③安全に食べよう ④健康に食べよう ⑤おいしく食べよう ⑥これからも食事を楽しむために	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の機能や、ライフステージごとに必要な栄養の特徴を詳しく解説しています。生活習慣病などを扱い、日々の食生活と、健康の関係について考えることができるように構成を工夫しています（第1号）。 ・調理実習において、主食であるごはんやお茶の淹れ方などを振り返り、改めて日本の食文化を認識できるように構成しています（第5号）。 ・ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を中心に郷土料理や行事食などを扱いました。生命を尊び、食卓に四季を取り入れてきた日本の優れた食文化を再認識することができるようにしました（第4号、第5号）。 ・世界の食文化を扱うことで、国際理解を深められるようにしています（第5号）。 	90－95頁など 122, 135頁など 146－149頁 148頁
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割って何だろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③自分で衣服をつくってみよう ④衣服の計画・管理を知ろう ⑤今後の衣生活を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な衣服である和服について扱うことで、私たちの生活に根付いている日本の心を感じることができるように工夫しました（第5号）。 ・日々の健やかな生活のために必要な、衣服の入手、洗濯、手入れ、着用の仕方、廃棄に至るまでの基礎知識を、丁寧に解説しました（第2号）。 	154－156, 161, 163, 168－174頁 176－185頁
B編 第3章 住生活と住環境 ①どのような家に住みたい？ ②安全に住もう ③快適に住もう ④住まいの課題と未来の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・防災についての知識や事故への備えなどについて具体的に扱い健康・安全に暮らすための知識を身につけられるようにしました（第1号）。 ・自然を取り入れた古民家などの例と、これから先の未来の住まい方を両方扱い、持続可能な発展について考えることができるように工夫しました（第4号、第5号）。 ・まちづくりに参加する高校生の例を挙げることで、社会の一員としての自覚を持ち、積極的に地域にかかわる意識の基礎をつくれるようにしました（第3号）。 ・気候や文化の影響を受けて発展してきた世界の住居を扱うことで国際理解を深められるようにしました（第5号）。 	194－197頁 203, 207, 209－210頁など 175頁など 211頁
C編 第1章 生活における経済の計画 ①将来に向けて家計を考えよう ②将来の経済計画を立ててみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・経済と家計の関係を扱い、社会の一員としての自覚が持てる内容を重視しました（第2号）。 ・家計の管理や経済計画の重要性を取り上げ、職業、生活との関係、自律性をもって将来を考えられるようにしました（第2号）。 	218－219頁 220－227頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
C編 第2章 消費生活と意思決定 ①何をどうやって買う？ ②かしこい消費者になろう	<ul style="list-style-type: none"> 情報の扱い方、意思決定の方法、キャッシュレス決済、クレジットカードのしくみなど、情報化時代で自立するために必要な内容を多く取り扱いました（第2号）。 自らの消費行動が持続可能な社会につながっていることを知り、主体的に社会の形成にかかわることの重要性が意識できるようにしました（第3号）。 	230－237頁 244－245頁
C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②私たちにできることは何だろう？	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の重要性を実感できるよう、現在問題となっているさまざまな環境問題と、そのための法制度について扱っています（第4号）。 私たちの生活と環境のかかわりを理解するため、エシカル消費や持続可能な消費のあり方についてわかりやすく解説しています（第3号）。 	250－251頁 252－253頁
生涯の生活設計2 ①自分の人生を豊かにしよう	<ul style="list-style-type: none"> 高校生が「生活設計1」で考えた自分のライフイベントを、これまでの家庭科学習を踏まえて軌道修正してより具体的な生活設計を立てるための資料を掲載し、自分の人生について主体的に考えられるようにしました。（第2号）。 職業や年齢の異なる人の生き方の例をインタビューとして示し、高校生が将来の働き方や家庭生活を想像する際に、人それぞれに多様な価値観があり、多様な生き方を尊重することが大切であると気づくことができるようにしました（第3号）。 	263頁 262頁
D編 ホームプロジェクト ホームプロジェクトに取り組もう ・ホームプロジェクトの進め方 ・ホームプロジェクトの実践例 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家庭生活を見直し、見つかった課題の解決に向けて、計画、実践、評価する方法と、その実践例を紹介しています。ホームプロジェクトの経験を、学校や地域の課題解決に生かすことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことにつながるようにしました（第3号）。 	口絵9 264－269頁
「生活情報」を探してみよう ライフステージと法律	<ul style="list-style-type: none"> これからの人生に必要な知識と教養を身につけられるように、生活情報や法制度を取り上げました。生活の中で必要な知識を身につけ、道徳心を養うことにつながる情報を掲載しました（第1号）。 	口絵12－14

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルデザインフォントと、ユニバーサルデザインカラーを使用しました。図表なども、色弱の方にも見えやすいように配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。また、弱視の方にも視認性が高いゴシック体を本文に用いました。

図表や写真をの内容をよりわかりやすく伝えるために、本文脇の側注スペースを広めに取り、見やすく配置し、豊富な資料を掲載することで、深い学びにつながるように配慮しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-274	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
06 教図	家総 702	未来へつなぐ 家庭総合 365		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●人生に役立つ教科書

「人生に役立つ教科書」をコンセプトに、身の回りの生活を再認識し、人生を見通し、自分なりの価値観を築くことができるようになることを目標に、編修しました。

A編のはじめとC編の終わりに生活設計の章を置くことで、全編を通してこれからの人生について考え、生活設計ができる構成にしました。口絵では、人生を見通すための概観図を用い、人・社会・モノとのつながりを表す空間軸の視点と、過去・現在・未来といった時間のつながりの視点を示しました。人生にはさまざまな人のかかわりや選択肢があることを提示し、家庭科で学ぶことが、生活設計やこれからの人生と深くかかわるものであることが伝わるようにしました。

▶私たちの生活・私たちの一生 (口絵 1～4)



●実感を伴う教科書

学習の内容をできるだけ実感を伴って理解できるように、実際の高校生の写真や学校での取り組み、日常生活にかかわる資料、時事的な話題など、実生活につながる資料を取り上げました。

実践的・体験的な学習活動を重視し、「保育」領域では**保育実習**の様子を、「高齢期」領域では**介助実習**の様子を紹介しています。実習ページには、**QRコード**を掲載し、動画で実際の動きを確認しながら、実感をもって理解できるように工夫しました。

また、「保育」領域では、等身大の赤ちゃんの写真や、ひとりの子どもの成長を追った写真を掲載するなど、実感を持ってイメージできるつくりになりました。「高齢期」領域、「生活設計」領域では、異なる世代の人たちを身近に感じられるように実際の高齢者や、専業主婦などの**インタビュー**を掲載しました。

年齢	1～2か月	3～4か月	5～6か月	7～8か月	9～10か月	10～11か月	1～1歳3か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
身長	男 身長 57.0cm 女 身長 55.0cm	男 身長 61.0cm 女 身長 59.0cm	男 身長 65.0cm 女 身長 63.0cm	男 身長 69.0cm 女 身長 67.0cm	男 身長 73.0cm 女 身長 71.0cm	男 身長 77.0cm 女 身長 75.0cm	男 身長 81.0cm 女 身長 79.0cm	男 身長 85.0cm 女 身長 83.0cm	男 身長 90.0cm 女 身長 88.0cm	男 身長 95.0cm 女 身長 93.0cm	男 身長 100.0cm 女 身長 98.0cm	男 身長 105.0cm 女 身長 103.0cm
体重	男 体重 4.0kg 女 体重 3.8kg	男 体重 5.0kg 女 体重 4.8kg	男 体重 6.0kg 女 体重 5.8kg	男 体重 7.0kg 女 体重 6.8kg	男 体重 8.0kg 女 体重 7.8kg	男 体重 9.0kg 女 体重 8.8kg	男 体重 10.0kg 女 体重 9.8kg	男 体重 11.0kg 女 体重 10.8kg	男 体重 12.0kg 女 体重 11.8kg	男 体重 13.0kg 女 体重 12.8kg	男 体重 14.0kg 女 体重 13.8kg	男 体重 15.0kg 女 体重 14.8kg
頭囲	男 頭囲 34.0cm 女 頭囲 33.0cm	男 頭囲 35.0cm 女 頭囲 34.0cm	男 頭囲 36.0cm 女 頭囲 35.0cm	男 頭囲 37.0cm 女 頭囲 36.0cm	男 頭囲 38.0cm 女 頭囲 37.0cm	男 頭囲 39.0cm 女 頭囲 38.0cm	男 頭囲 40.0cm 女 頭囲 39.0cm	男 頭囲 41.0cm 女 頭囲 40.0cm	男 頭囲 42.0cm 女 頭囲 41.0cm	男 頭囲 43.0cm 女 頭囲 42.0cm	男 頭囲 44.0cm 女 頭囲 43.0cm	男 頭囲 45.0cm 女 頭囲 44.0cm
発達	首を据え、顔を動かす	つかまり立ち、つかまり歩	つかまり歩、つかまり走	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳	つかまり走、つかまり跳

▲乳幼児期の発育・発達 (折込 1～2)



▲保育実習 (p.46 など)

●主体的・対話的で深く学べる教科書

各章の導入部分には、目を引く写真を入れ、キャラクターの会話と、「考えてみよう」の問いかけを入れることで、学習への興味・関心を持たせ、主体的に考える動機づけにつながる工夫をしました。

また、生徒自らが能動的に学べるように「TRY」を多く掲載しています。「TRY」には3種類のイラストを入れ、主体的に考えるテーマ、対話により考えを広げるテーマ、さらに深く理解するテーマに分類し、学びを深められるようにしました。

各章末には、テーマについて世界に視野を広げ、身の回りの事例を調べ、考えをまとめる「Viewpoint」を置き、さまざまな視点を持ち、自身の考えをさらに深められる構成にしました。



▲各章導入部分 (p.208 ほか、各章)



TRY アイコン
(主体的な学び)



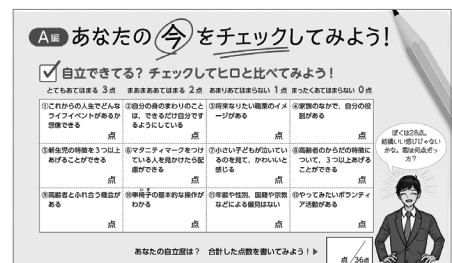
TRY アイコン
(対話的な学び)



TRY アイコン
(深い学び)

●問題解決能力と実践的態度を育てる教科書

家庭生活を見直し、自身の生活の中から課題を見つけ、計画を立て、実践し評価することで学習を深めるホームプロジェクトの取り組みを重視し、説明だけでなく、実際に高校生が取り組んだ例を取り上げました。各編の最後には、**自立度をチェック**するページをつくり、学んだことを振り返るとともに、10年後の生活について考え、将来の生活設計へとつながる構成にしました。

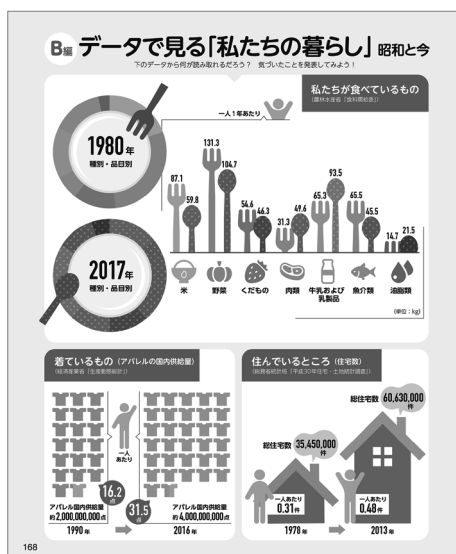


▲自立度チェック (p.87,215,257)

●わかりやすく、伝わりやすい教科書

グラフや表には、**インフォグラフィックス**やイラストなどを取り入れ、視覚的な伝わりやすさに留意しました。また、全体的に写真やイラストを多く使用し、全編を通して登場する**キャラクター** (高校生、留学生、先生) がセリフとして話す見せ方にする事で、ポイントや説明がわかりやすく伝わるように工夫しました。

調理実習ページでは、使用する材料と、調理工程の写真を多く使用し、**ビジュアル的な見せ方**と、作る際にイメージしやすいように**手順の伝わりやすさ**を重視しました。豆知識やアレンジレシピなども掲載し、実践的で今後の生活にも役立つページ構成にしました。



▲インフォグラフィックス (p.88,216,258)



▲調理実習ページ (p125 ほか)

●社会・環境とのつながりを感じる教科書

社会や環境とのつながりを重視し、世界的な目標である「SDGs」を口絵で大きく取り扱うとともに、各章の扉ページでも、かわりのあるSDGsマークを掲載し、持続可能な社会を実現するための目標と家庭科とのつながりを意識できる構成にしました。

また、自身の生活と社会や環境とのつながりに気づき、社会の課題について主体的に考えられるように、環境にかかわるコラムやTRYなども取り入れました。



▲SDGs特集 (口絵7～8)

●小学校・中学校や他教科とのつながり意識できる教科書

各章の扉ページでは、**小学校・中学校の家庭科で学んだキーワード**をチェックする欄を設け、これまでの学習とのつながりを意識できるようにしました。また、コラムでは**他教科とリンクするテーマ**も取り上げ、さまざまな学習のつながりを感じられるつくりをしました。

▶各章の扉ページ (p.229 ほか、各章)



●伝統に触れる教科書

日本文化について、生活文化を扱う家庭科ならではの視点で取り上げるように留意しました。特に、食・衣・住については、四季や気候風土、文化などとの関連性を紹介し、**先人の知恵と伝統**について考えることができるように工夫しました。実際の写真を使って、ビジュアル的に展開することで、視覚的に理解できるようにしました。



▲B編 第1章 食生活と健康 (p.146)



▲B編 第2章 衣生活と健康 (p.161)



▲B編 第3章 住生活と住環境 (p.203)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
私たちの生活 私たちの一生 家庭科で何学ぶ？ 世界を変える 17 の目標「SDGs」って何？		口絵 1 - 8	1
生活を豊かにする「家庭科」 ニュースから課題を見つけてみよう	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	口絵 9 - 11	1
A 編 第 1 章 生涯の生活設計 1 ①あなたの将来、どうする？	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	5 - 10 頁	2
A 編 第 2 章 青年期の自立と家族・家庭 ①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像する	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭	11 - 28 頁	10
A 編 第 3 章 子どもの生活と保育 ①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもとどうかかわろう？ ③これからの子育てとは？	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育	29 - 58 頁	18
A 編 第 4 章 高齢期の生活と福祉 ①高齢期ってどういう時期？ ②高齢者とふれ合ってみよう ③高齢化する日本を生きる	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉	59 - 74 頁	12
A 編 第 5 章 共生社会と福祉 ①共生って何だろう？ ②ノーマライゼーションとは あなたの今をチェックしてみよう！ データで見る「これからの日本」	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5) 共生社会と福祉 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) (2) (3) (4) (5)	75 - 86 頁 87 - 88 頁	6
B 編 第 1 章 食生活と健康 ①なぜごはんを食べるの？ ②私たちは何を食べているの？ ③安全に食べよう ④健康に食べよう ⑤おいしく食べよう ⑥これからも食事を楽しむために	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康	89 - 150 頁	28

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割って何だろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③自分で衣服をつくってみよう ④衣服の計画・管理を知ろう ⑤今後の衣生活を考えよう	B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康	151 - 190 頁	24
B編 第3章 住生活と住環境 ①どのような家に住みたい？ ②安全に住もう ③快適に住もう ④住まいの課題と未来の暮らし あなたの今をチェックしてみよう！ データで見る「私たちの暮らし」	B 衣食住の生活の自立と設計 (3) 住生活と住環境 B 衣食住の生活の自立と設計 (1) (2) (3)	191 - 214 頁 215 - 216 頁	12
C編 第1章 生活における経済の計画 ①将来に向けて家計を考えよう ②将来の経済計画を立ててみよう	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画	217 - 228 頁	6
C編 第2章 消費生活と意思決定 ①何をどうやって買う？ ②かしこい消費者になろう	C 持続可能な消費生活・環境 (2) 消費行動と意思決定	229 - 246 頁	8
C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②私たちにできることは何だろう？ あなたの今をチェックしてみよう！ データで見る「エンカル消費」	C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 C 持続可能な消費生活・環境 (1) (2) (3)	247 - 256 頁 257 - 258 頁	6
生涯の生活設計2 ①自分の人生を豊かにしよう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	259 - 263 頁	2
D編 ホームプロジェクト ホームプロジェクトに取り組もう ・ホームプロジェクトの進め方 ・ホームプロジェクトの実践例 学校家庭クラブ活動	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	264 - 269 頁	3
「生活情報」を探してみよう ライフステージと法律		口絵 12 - 14	1
		計	140

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-274	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家総 702	未来へつなぐ 家庭総合 365		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容